

静観台グループ例会

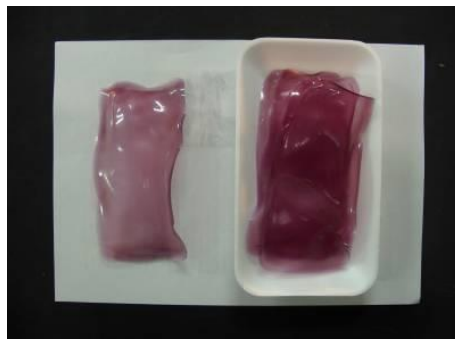
於：サイエンスフィールド 2004. 6. 9

参加者 倉橋（西大寺南小）三辻（彦崎小）松本（国府小）福井（伊島小）

最近はいろいろと差し障りがあってここに書けない内容が多く、記録者の福井としてはちょっと悩み！しかし、今回も来年度以降を見据えたい勉強をさせてもらいました。詳細は割愛です。スママセン。

【夏季研修会の出し物】三辻

初等理科教育岡山支部の今年の夏季研修会は8月25日(水)の10時から16時までライフパーク倉敷で行われます。従来の実践発表に加え昨年度からは授業に役立つ実験のコーナーが設けられることになっています。静観台の今年の出し物は高松先生が開発された『フィルム状指示薬（紫色の薄片を水に戻すと紫キャベツの指示薬になる。保存が簡単であり、紫キャベツが安い時期に作っておけばとても安価）』を出そうと計画していたのですが、三辻先生が幹事会に行ったところ他も6年生の水溶液をテーマにしているということで、今回は静観台は遠慮して別のものにすることにしました。現段階では『電気・磁石実験用標本（型紙に10円玉やアルミ缶、仁丹、プラスチック等を貼り付け電気や磁石の実験をするというもの）』を作ろうかということになっています。



【揚子江の石】福井

100円ショップ「ダイソー」で売っていた『揚子江の石』。この白っぽい石を2つ暗闇で強く押しつけながらこすり合わせるとポウッと光ります。火打ち石のようにガンガン叩きつけるではありません。圧電効果によると思うのですが悲しいかな本当のことは分かりません。角砂糖をペンチで割っても光ると本に書いていたのでやってみましたが、こちらはダメでした。



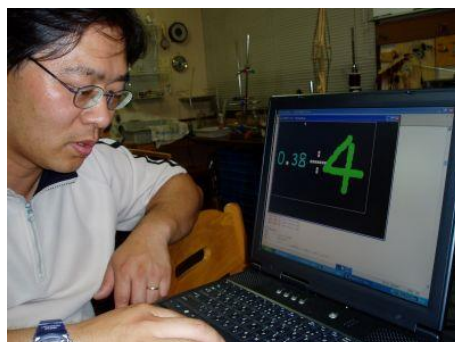
【本紹介・漢字の宝島・斉藤孝】松本

『漢字の宝島』馬場雄二、仮説社は迷路のような図に色を塗ると該当学年の漢字が現れるというもの。楽しみながら漢字の学習ができます。大判のポスターもありますが、本のサイズの方が普段の授業には良いようです。もうひとつは「時の人」斉藤孝さんの本で『カッコよく生きてみないか』と『そんな友達ならいなくなっちゃいけないか』。子供の受けも良いそうです。



【パソコン新調・ソフト紹介】倉橋

倉橋先生がDEL社製のパソコンを買われました。高性能で安価。使い勝手も良いそうです。この最新型のパソコンで何をするか…。なんと昔々にBASICで作った計算ソフトを移植



して悦にっている様子。何だか新幹線に乗って近所に買い物に行くみたいですが、自分の頭を使ってプログラムを作っていた頃の楽しさを忘れないようにしているのには敬服します。このほかWindowsのエラーをチェックして修復したり、調子よかった頃の状態に戻したりするNoton社のSystem Worksというソフトもたいへん便利そうでした。